



国内市場シェア 8 割を占める業界標準シリーズ ÄKTAdesign に新製品登場

## GE ヘルスケア・ジャパン

### タンパク質精製用液体クロマトグラフィーシステム「ÄKTA pure」を発売

～ 初心者からエキスパートの研究者まで、研究進度に合わせて機能の追加・変更が自由自在に ～

医療課題の解決に取り組むヘルスケアカンパニー、GE ヘルスケア・ジャパン株式会社(本社:東京都日野市、社長:川上潤)は本日 8 月 27 日(月)、液体クロマトグラフィーシステム「ÄKTA pure(アクタ ピュア)」を、大学や国立研究機関、製薬会社におけるタンパク質研究者を主対象に発売します。

ÄKTA pure は、1996 年の発売以降、すでに 3,000 台の納入実績を誇り、国内市場シェア 8 割を占める\*1 業界標準の生体分子精製用液体クロマトグラフィーシステム\*2「ÄKTAdesign(アクタ デザイン)\*3」の最新装置で、世界同時発売となります。最大の特長は、予算に応じて仕様を選択でき、研究内容・環境にあわせて購入後でも機能を簡単に増設・変更できることです。また、操作部分を装置前面に集約し、作業しやすい設計を採用しています。

今日の研究では、ゲノミクスから精製や機能解析など一連のタンパク質探索の実験を行うことが期待されており、特定のタンパク質を短時間に高純度で分離するなど、より複雑な実験条件や手法の設定が必要となってきています。ÄKTA pure は標準的なゲルろ過、イオン交換、アフィニティークロマトグラフィーへの対応はもちろん、オプションを順次追加・変更し、大量サンプルの自動添加・カラム使用履歴のデータベース管理・DoE(実験計画法)\*4 機能などを完備したハイスパックなシステムを構築することも可能です。その結果、どのような条件下でも目的タンパク質を手軽に分離できるため、研究者ごとに異なる様々な実験ニーズに的確に対応します。

ÄKTA pure は、制御ソフトウェア「UNICORN 6」\*5 のドラッグ & ドロップ方式により、精製工程のプログラミングが簡単かつ柔軟に作成・編集可能なため、特別なプログラミングスキルは必要ありません。さらに電子証跡が可能で、システムを複数の研究者で共有するのにも適しています。

当社は 1982 年に「FPLC System(FPLC システム)」を発売して生体分子精製用液体クロマトグラフィーシステム市場に参入して以来、1996 年には初代の ÄKTAdesign 「ÄKTAexplorer(アクタ エクスプローラー)」、2004 年には多段階クロマトグラフィーの全自動処理を行う「ÄKTAexpress(アクタ エクスプレス)」、2009 年には DoE 機能のついた「ÄKTA avant(アクタ アヴァント)」を相次いで市場投入し、バイオ医薬品の開発や製造に携わる製薬企業や国立研究機関などに対して、作業効率の改善、時間やコストの削減に貢献する機器および試薬を提供してきました。50 年におよぶタンパク質精製技術、ならびに 20 年以上にわたる精製システム開発の経験を結集して製造された当社の各種製品は市場の高い評価を獲得しており、中でも ÄKTAdesign はこれまでに全世界で 10 万人もの研究者に採用されています。

当社はこの ÄKTA pure の発売を機に、既存製品群のさらなる積極的な拡販も推進することで、タンパク質研究スピードの加速、迅速な実用化などバイオテクノロジー業界の発展に貢献することを目指します。

GE ヘルスケア ライフサイエンスの研究用製品部門トップのヨハン・フォン・ヘイネ(Johan von Heijne)は、「急激に研究環境が変化するなか、研究者の皆さんは同じシステムをいつまで使い続けられるのかに大変高い関心を抱いています。今回発売する ÄKTA pure は、ベースシステムに各種オプションを組合せ可能なため、研究者の皆さんの作業をシンプルにするのと同時に、研究の状況に応じて柔軟に精製機能の拡張やカスタマイズを行えます。ÄKTA pure はまさに、どのような方にもマッチしたシステムなのです」と述べています。



**初心者からエキスパートの研究者まで、研究進度に合わせて自由自在に機能の追加・変更が可能な  
タンパク質精製用液体クロマトグラフィーシステムの新製品「ÄKTA pure」**

- \*1 出典: 科学機器年鑑 2011 年版 株式会社アール アンド デイ
- \*2 生体分子精製用液体クロマトグラフィーシステム: 抗体に代表されるタンパク質やペプチドなどの生体分子を精製する装置
- \*3 ÄKTA design (アクタ デザイン): 1996 年に発表された GE Healthcare (旧 アマシャム バイオサイエンス株式会社 / アマシャム ファルマシア バイオテック株式会社) の液体クロマトグラフィーシステムシリーズ。全世界で 10 万人の研究者に対する採用実績を誇る
- \*4 DoE (Design of Experiments): 実験計画法。効率のよい実験方法をデザインし、結果を適切に解析することを目的とする統計学の応用分野
- \*5 UNICORN (ユニコーン): ÄKTA design シリーズのシステム制御ソフトウェア。使いやすいインターフェースや自動解析機能、レポート作成機能などが特長

製 品 名: ÄKT pure (アクタ ピュア)  
 発 売 日: 2012 年 8 月 27 日 (月)  
 希 望 小 売 価 格: 500 万円 ~ (税抜き)  
 初 年 度 国 内 販 売 目 標 台 数: 30 台

GE ヘルスケア・ジャパン株式会社は、ゼネラル・エレクトリック (GE) のヘルスケア事業部門である GE ヘルスケアの中核拠点の 1 つとして、先端的な医療技術ならびに医療・研究機関向けの各種サービスを提供しています。医療用画像診断からライフサイエンス (生命科学) まで幅広い分野にわたる専門性を駆使しながら、GE の世界戦略「ヘルシーマジネーション」で掲げる「医療コストの削減」「医療アクセスの拡大」「医療の質の向上」の実現に向けて、国内外の医療・研究施設を中心に革新的な製品やサービスをお届けしています。主要取扱製品は、CT (コンピュータ断層撮影装置)、MRI (磁気共鳴断層撮影装置)、超音波診断装置、医療用画像ネットワーク、メディカル・ダイアグノスティクス (体内診断薬)、生体情報モニタ、液体クロマトグラフィー装置、細胞解析装置。2012 年 7 月 1 日現在の社員数は 2,140 名、国内の事業所数は 55 カ所。  
 ホームページアドレスは [www.gehealthcare.co.jp](http://www.gehealthcare.co.jp) (ライフサイエンス統括本部: [www.gelifesciences.co.jp](http://www.gelifesciences.co.jp))。

お問い合わせ先 / 写真データの希望は以下まで  
 GE ヘルスケア・ジャパン株式会社 コミュニケーション本部  
 プランチャード美津子 / 松井亜起  
 Tel: 0120-202-021 Fax: 042-585-5360  
 Mail: [mitsuko.blanchard@ge.com](mailto:mitsuko.blanchard@ge.com) / [aki.matsui@ge.com](mailto:aki.matsui@ge.com)

製品詳細に関するお問い合わせ先  
 ライフサイエンス統括本部 バイオプロセス事業部 奥平真実  
 Tel: 03-5331-9317 Fax: 03-5331-9368